



ひがしっ子

小野東小学校 学校だより 令和7年9月号

学校長

記録的な暑さに負けず、充実した二学期へ向けて

39日間の夏休みが終わり、学校には再び子どもたちの元気な声が戻ってきました。子どもたちは、ご家庭や地域の皆様の温かいご配慮により、大きな事故やトラブルもなく、充実した夏休みが過ごせたようです。皆様のご協力に心より感謝いたします。

今年の夏の暑さはこれまでで一番になるだろうと言われていますが、7月30日には、小野市より北にある丹波市柏原で、過去最高の41.2℃を記録しました。その後、8月5日には、群馬県伊勢崎市で、41.8℃という日本で一番の暑さを記録更新しました。

そのような暑さが続く中、夏の高校野球全国大会が甲子園で行われ、沖縄尚学高等学校が初優勝をしました。ところで、今回出場した高校に小野東小学校の卒業生がいたのをご存じでしょうか。大阪府代表の東大阪大学柏原高等学校の選手です。残念ながら、一回戦で敗退してしまいましたが、卒業生が全国を舞台に頑張っている姿は、私たちにパワーを与えてくれます。

また、小野東スポーツ少年団の人たちも様々な大会で活躍していますが、個人でこの夏の全国大会に出場した人が2人います。その2人は、バレーボールと空手で出場しました。全国というレベルの高い大会に出場し、自分の最高のパフォーマンスを発揮できる機会なんてなかなかありません。その人たちの頑張りも、小野東小学校に勇気とパワーを与えてくれています。

そして、もう一つ、毎年必ずこの夏季休業中に迎える出来事で、毎年しっかりと考え続けてもらいたいことがあります。それは、8月6日の「広島平和記念日（原爆の日）」、8月9日の「長崎原爆の日」、そして、8月15日の「終戦記念日」です。

広島と長崎に落とされた原子爆弾で、合わせて21万4千人の方が亡くなられたそうです。その前には、戦争の相手国が沖縄に上陸し、亡くなられた方が20万人とも言われています。もちろん、戦争全体では、もっと、もっと、多くの方が亡くなられています。

そのような悲惨な戦争が終わってから、今年で80年目を迎えます。今は、日本は平和で戦争はありません。でも、世界の各地では、今この瞬間にも戦争や争いが起こり、たくさんの命が奪われています。日本にとっての戦争は80年前に終わっていますが、今、平和な日本だからこそ、平和であることのありがたさを常に心に持ち、事故や事件なども含め、簡単に命が奪われるような悲しい思いをみんながしなくてもいいように、これからも「命」があり続けることを大切にして生活していつくれることを願っています。

いよいよ2学期のスタートです。2学期は、一年間の中で最も長く、音楽会やマラソン大会、自然学校、修学旅行などの行事がたくさんあります。また、暑さが徐々に和らぎ、学習を充実させていくのにもふさわしい学期です。一日も早く「早寝・早起き・朝ごはん」などの生活リズムを整えるとともに、自分たちの新しい目標に向けて粘り強く取り組み、すべての人たちへの「感謝（ありがとう）の心を大切にする」を合い言葉に、より充実した2学期になることを期待しています。

「令和7年度 夏休み作品展」が開催されました

9月1日（月）～2日（火）、小野東小学校体育館におきまして、夏休み作品展「目指せ! 努力の達人 最高の作品を作り上げろ ～思いのこもった作品展へ～」が開催されました。児童自身のアイディアと力だけで創り上げた作品、親子のふれ合いを大切に創り上げた作品…、どの学年も力作が並んでいました。保護者の皆様のご支援とご協力に感謝いたします。



【入賞者一覧】

	校長賞	教頭賞	輝く東っ子賞	努力の達人賞	アイディアの達人賞	生活の達人賞	サイエンス賞
1年							
2年							
3年							
4年							
5年							
6年							

「みんなで人権学習(学習参観)及びPTA人権講演会」

9月下旬には、人権についてみんなで学習する学習参観があります。また、ネット社会まっただ中の児童や私たちが、身近なリスクを理解し身を守るために、小野市のサイバーパトロールとしてもお世話になっている筒崎眞美様にご講演いただきます。3年生以上の児童も参加します。小野東小学校児童の実態を知っていただくのにもよい機会かと思ひます。多数のご参加をどうぞよろしくお願いいたします。

- 1 日時 令和7年9月25日（木） 8：40～10：50
- 2 内容 ○授業参観「みんなで人権学習」 8：40～ 9：25 各教室
- PTA人権講演会
- 3～6年生児童と保護者 9：40～10：20 体育館
- 保護者のみ 10：25～10：50 体育館
- 演題 「スマホやネットに潜む危険
～親子で考えるネット環境とルール～」
- 講師 N I T情報技術推進ネットワーク株式会社 筒崎眞美 氏